

新しい豊かさ協創2 夢と感動のスポーツ推進協創プロジェクト

(主担当部局：地域連携部)

プロジェクトの目標

地域のスポーツ活動が活性化し、スポーツを通じて産業や観光の振興が図られるとともに、本県の選手がオリンピックやパラリンピックなどの国際大会や国民体育大会などで一層活躍し、県民の皆さんが、その姿に夢と感動、郷土の誇りを感じることで、地域の一体感が醸成され、活力に満ちた元気な三重となっています。

そのため、4年後には、スポーツを地域経済の発展等につなげる市町の取組が推進され、また、次代を担うジュニア競技者の育成や、障がい者スポーツの充実などによって、県民の皆さんのスポーツへの関心が高まっています。

プロジェクトの数値目標						
目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
県内スポーツ大会・イベントの参加者数	/	187,410人 (169,710人)	192,417人 (174,360人)		197,520人 (179,102人)	202,700人 (184,000人)
	182,509人 (161,914人) (22年度)	240,989人			/	/
目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方						
目標項目の説明	県、市町が主体となって実施するスポーツ大会・スポーツイベントの参加者数					
26年度目標値の考え方	平成25年度目標値の2%増+1大会あたり平均参加者数1,255人を加えた数値を平成26年度の目標値として設定しました。					

実践取組の目標							
実践取組	実践取組の目標	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
1「スポーツによる地域の活性化」に挑戦します！	「スポーツボランティアバンク」登録人数	/	250人	400人		500人	600人
		—	95人			/	/
	スポーツによる地域経済の活性化に取り組む市町数（累計）	/	2市町	4市町		6市町	8市町
		—	2市町			/	/

実践取組	実践取組の目標	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
2「みえのスポーツを支える人づくり」に挑戦します！	強化指定する高校運動部活動数		6部	10部		15部	20部
		—	8部				
	県障がい者スポーツ大会参加者数		1,450人	1,500人		1,550人	1,600人
		1,373人	1,300人				

進捗状況（現状と課題）

【実践取組1 「スポーツによる地域の活性化」に挑戦します！】

- ・スポーツによる地域の活性化を図るため、市町のスポーツコミッションの推進に向けた取組や県内のトップチームの選手によるスポーツ教室の開催等の市町の取組に対し支援をしています。今後はこうした取組を実施する市町を拡充する必要があります。
- ・県民の皆さんがスポーツを「支える」といった関わりが持てるように「みえのスポーツ応援隊」（スポーツボランティアバンク）の募集を行っています。今後は、県内のスポーツイベント等での活用を図り、スポーツを支える人材育成とともに、こうした取組が、今後本県で開催される国民体育大会などの大規模大会を支えることとなるよう取り組む必要があります。

【実践取組2 「みえのスポーツを支える人づくり」に挑戦します！】

- ・平成30年の全国高等学校総合体育大会、平成33年の国民体育大会の本県開催に加えて、平成32年の東京オリンピック開催が決定されました。こうした大会は、本県の子どもたちにとって大きな目標や励みとなることから、ジュニア選手や高校生の育成・強化に、一層取り組んでいく必要があります。
- ・平成33年に本県で開催される全国障害者スポーツ大会に向けて、新たに4競技団体の結成に取り組んでいます。引き続き、昨年度結成した競技団体の育成支援、既存の障がい者スポーツ競技団体の強化や障害者スポーツ指導員の育成が必要です。

平成26年度の実践取組方向

【実践取組1 「スポーツによる地域の活性化」に挑戦します！】

- ・スポーツによる地域の活性化を図るため、市町によるスポーツコミッション推進に向けた取組や県内トップチーム選手によるスポーツ教室の開催等を支援するとともに、その事業成果を県内市町と情報共有し事業実施の働きかけを行うことで、当事業に取り組む市町の拡充を行います。
- ・スポーツを支える人材育成の取組として、ボランティアリーダーの育成等「みえのスポーツ応援隊」の充実を図ります。また、スポーツには地域の活性化を図ることができる等の多面的な効果が期待できることから、市町や関係団体と連携し、スポーツイベントの充実に向けた取組を行います。

【実践取組2 「みえのスポーツを支える人づくり」に挑戦します！】

- 平成30年の全国高等学校総合体育大会、平成33年の国民体育大会に加え、平成32年の東京オリンピックで活躍する選手を育成していくため、とりわけジュニア世代に対しては、第2の吉田沙保里選手を発掘・育成できるよう、県内外のトップアスリート等を指導者として活用します。
また、有望なジュニア選手を「チームみえジュニア」として強化するとともに、高等学校運動部の強化指定の一層の拡充と新たに中学校運動部を強化指定して選手強化に取り組んでいきます。
- 平成33年に本県で開催される全国障害者スポーツ大会に向けて、平成24・25年度に結成した競技団体を含め、県内全域で活動する障がい者スポーツ競技団体の活動支援や障害者スポーツ指導員の技術向上等を図ります。

主な事業

【実践取組1 スポーツによる地域の活性化に向けた課題解決】

地域連携部

●みえのスポーツ地域づくり推進事業

予算額：(25) 2,944千円 → (26) 1,918千円

事業概要：スポーツによる地域の活性化を図るため、市町が実施するスポーツコミッションの取組にアドバイザーの派遣を行うとともに、スポーツイベント等に対するメディカルサポート及び県内トップチームの選手を派遣するなど、市町の取組に対し支援を行います。

●みえのスポーツ応援事業

予算額：(25) 3,494千円 → (26) 2,129千円

事業概要：みえのスポーツ応援隊（スポーツボランティアバンク）の普及啓発・育成及び各種スポーツイベント等での活用を促進するとともに、ボランティアリーダーの育成などの充実を図り、県民が広くスポーツを支える人材の育成に取り組みます。

【実践取組2 みえのスポーツを支える人づくりのための課題解決】

地域連携部

●（一部新）競技スポーツジュニア育成事業

予算額：(25) 37,050千円 → (26) 44,539千円

事業概要：ジュニア選手・少年選手を計画的に育成・強化を推進するため、新たに中学校運動部の強化指定を行うとともに、高等学校運動部の強化指定を拡充し、一貫した競技力向上の取組を進め、将来のトップアスリートの育成・強化を図ります。

健康福祉部

●障がい者スポーツ環境整備促進事業

予算額：(25) 10,000千円 → (26) 10,056千円

事業概要：障がい者スポーツの普及と機会の充実を図り、あわせて障がい者の特性を理解した指導員を育成するなど、障がい者が安心してスポーツに参加できる環境づくりに取り組みます。